

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：教育指導費

事業名 SNSを活用した相談事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

学校安全課 教育相談係 電話番号：058-271-3328

E-mail：c17770@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 4,850 千円 (前年度予算額：7,112 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	7,112	2,370	0	0	0	0	0	0	4,742
要求額	4,850	1,616	0	0	0	0	0	0	3,234
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

- ・いじめ防止対策推進法では、いじめの早期発見の措置として、地方公共団体は、いじめに関する相談を受け付けるための体制整備に必要な施策を講ずることが掲げられています。
- ・近年、若年層が用いるコミュニケーション手段として、スマートフォンのSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）が圧倒的な割合を占めています。
- ・問題が深刻化することを未然に防止する観点から、いじめを含め様々な悩みを抱える児童生徒を対象とし、SNSでの相談に応じる必要があります。

(2) 事業内容

- ・県の高校生・中学生段階の生徒を対象とし、プレッシャーや精神的動揺が生じやすいと考えられるゴールデンウイーク明け前後、長期休業明け前後及び年度末にSNSを活用した相談を実施します。
- ・事業周知のため、広報カードを作成し、県内の高校生・中学生段階の生徒に配布します。
- ・SNS相談の実績がある民間事業者に委託することにより、臨床心理士などの資格を有し一定の研修を経た専門性の高い相談員が、的確な受付対応や相談等を行います。

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・県2/3負担（国1/3補助）
- ・県内全域への事業であるため、県負担が妥当

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
人件費	33	岐阜県SNS相談検討会議講師等報償費
旅費	79	検討会議、相談員研修会等参加旅費
委託料	4,738	SNS相談受付業務等
合計	4,850	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・第4次岐阜県教育ビジョン
基本方針1 「豊かな人間性」の育成
目標3 いじめ等の未然防止と早期発見・早期対応の徹底

(2) 国・他県の状況

- ・文部科学省「いじめ対策・不登校支援等総合推進事業」

(3) 後年度の財政負担

- ・文部科学省補助事業（「いじめ対策・不登校等総合推進事業」）を活用予定

(4) 事業主体及びその妥当性

- ・SNS相談システムの構築には専門的な知見が必要です。かつ相談で得られた大量のデータを分析する必要もあります。また、SNS相談の対応者は、通常の相談に関する知識・技術に加え、SNS相談に特化した専門性が求められるため、専門研修を受けた相談員が対応しなければなりません。したがって、専門の業者に委託することが最適です。

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県内の高校生・中学生段階の生徒が抱える様々な悩みに寄り添い、支援するため、SNSを活用した相談を実施します。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	H30年度 実績	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R10)	達成率
①児童生徒のうち、学校内外の機関等で、誰かに相談した児童生徒の割合【小学校】	86.4%	62.2%	57.7%	61.2%	75%以上	82.9%
②児童生徒のうち、学校内外の機関等で、誰かに相談した児童生徒の割合【中学校】	75.2%	54.1%	50.0%	55.0%	75%以上	72.1%
③児童生徒のうち、学校内外の機関等で、誰かに相談した児童生徒の割合【高等学校】	57.1%	60.3%	61.7%	64.3%	75%以上	80.4%

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等） ・「子供SNS相談@岐阜2020」実施 開設期間：令和2年5月6日（水）～6月12日（金） 令和2年8月14日（金）～8月27日（木） 令和3年1月4日（月）～1月13日（水） 受付時間：上記開設期間の午後5時～9時 対象者：県内の中学生、高校生段階の生徒本人 活用ツール：LINE ・学識経験者をメンバーに加えて、SNS相談に関する会議を開催し、事業実施方法等について協議しました。
令和 3 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等） ・「中高生SNS相談@岐阜2021」実施 開設期間：令和3年8月21日（土）～9月10日（金） 令和4年1月5日（水）～1月14日（金） 令和4年3月22日（月）～3月31日（木） 受付時間：上記開設期間の午後5時～10時 対象者：県内の中学生、高校生段階の生徒本人 活用ツール：LINE ・学識経験者をメンバーに加えて、SNS相談に関する会議を開催し、事業実施方法等について協議しました。
指標① 目標：100% 実績：99.4% 達成率：99.4%	

令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等） ・「中高生SNS相談@岐阜2022」実施 開設期間：令和4年5月5日（木）～5月14日（土） 令和4年8月21日（日）～9月3日（土） 令和5年1月5日（木）～1月14日（土） 令和5年3月22日（水）～3月31日（金） 受付時間：上記開設期間の午後5時～10時 対象者：県内の中学生、高校生段階の生徒本人 活用ツール：LINE ・学識経験者をメンバーに加えて、SNS相談に関する会議を開催し、事業実施方法等について協議しました。
	指標① 目標：100% 実績：97.8% 達成率：97.8%

2 事業の評価と課題

（事業の評価）

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
（評価） 2	携帯電話の所有率は、中学1年生が63.1%で、学年を追うごとに、この割合は増加し、高校3年生では98.8%となっています（令和4年度調査結果）。生徒を含む若年層は、主に携帯電話端末のSNSを使用して、コミュニケーションをとっています。この手段を利用して、生徒が安全に相談できる場を確保することは有効であり、本事業は必要であります。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
（評価） 2	SNS相談は生徒が利用しやすいことから、生徒が抱える様々な悩みをより多く受け付けることができ、不登校、いじめや暴力行為等の問題行動の未然防止、早期発見・早期対応が期待できます。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
（評価） 1	相談の実施については、専門業者に委託することにより、またSNS相談に係る検討会議では実施方法等を検討することで、効率化を図っています。

（今後の課題）

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 予算や人材確保の観点から、持続可能な相談体制、より効果的で効率的な相談等について、さらに検討する必要があります。

（次年度の方向性）

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 今年度の実績をもとに、最適な相談期間や相談時間、相談席数等について改善を加えて実施します。

（他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果）

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
----------------------------	-------

組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	
----------------------------	--